

ひょうたけいけ

桜台小 学校だより
令和3年12月8日
第40号



先日、児童玄関を何気なく見ていたら『朝、一輪車のカギをとりにいく』と書かれた紙が貼られていました。きっとこの子は、「朝やることを忘れないように」と、メモをして貼っていったのでしょう。こんなちょっとした工夫も生活の知恵としては大切ですね。12月は2学期のまとめの月で、個別懇談（希望されるご家庭）や通知表渡しがあります。残り2週間、しっかりと授業を受け、いい締めくくりの月にしてほしいと思います。



※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



プログラミングの授業を行いました（3年）。

新学習指導要領には、算数科、理科、総合的な学習の時間の中で、子どもたちがプログラミングを体験しながら、論理的思考力を身に付けるための学習活動を取り上げる内容やその取り扱いが例示されています。現在の義務教育においては、変化の激しい社会でも活躍できる大人になるため、テクノロジーを活用できる人材の育成や未来を生き抜く力を身に付けることが求められています。

12月7日(火)には外部機関にお願いし、3年生において、特別授業「プログラミングを学ぶ」と題し、タブレットを使ったオンラインによるプログラミングの授業を行いました。画面の向こうにいる指導者の指示に従い、学習が進められていきました。ワークシートを使い、ゆきばあさんの料理レシピを完成させるために、さまざまな材料を使って、下準備をし、調理をして盛りつけ、トッピングをして完成させるまでの順番を考えるプログラミングを体験しました。授業の最後には、何人かが自分のつくったプログラムを発表して、指導者からの講評をいただきました。3年生は積極的に手を挙げて発表しようとする子が多く、すごく授業が盛り上がっていました。



今回は、ICT支援員の方にもプログラミングの授業に入っただき、子どもたちのタブレット操作の支援をしていただきました。

桜中学校区の人権フォーラムが開催されました。

12月7日(火)の午後、桜小学校4名、桜台小学校4名、桜中学校8名の代表が集まり、桜中学校区の人権フォーラムが開催されました。4つのグループに分かれ『ある学校のマラソン大会は、男子が18キロで女子が15キロを走る』など、3つの素材を使い、あっていい違いかどうかについて考えを交流しました。今年度はコロナ禍で、代表者のみによる開催となりましたが、本校ではこれら3つの素材を持ち帰って再度取り上げ、6年生の人権学習の中で考える予定です。



情報化社会となり、SNSによる新たな人権課題も発生しています。また、時代の流れとともに人権についての判断基準も変化してきています。今回のように、日常生活での出来事を取り上げ、ちょっと立ち止まって考える機会は、とても大切なことだと思います。

「桜台小学校教育活動に関するアンケート」について（お願い）

先日、保護者の皆様に見出しのアンケートをお願いしました。Webアンケートとなっており、きょうだいがいる場合は、それぞれのお子様について1回ずつ回答していただくことになっています。回答期限が12月10日(金)となっていますので、ご協力をお願いします。（文責 北住 昌文）